

年齢の異なる子供のいる家庭での乳幼児の事故に注意！ ～事故防止ガイドを作成しました～

都では、「年齢の異なる子供のいる家庭での乳幼児の危険」をテーマに実施したヒヤリ・ハット調査の結果（裏面参照）に基づき、事故やヒヤリ・ハット経験の具体的な事例や事故防止のポイントをまとめたガイドを作成しました。

1 ガイドの概要

兄や姉がいる乳幼児に起こったヒヤリ・ハット経験などの事例について、①兄や姉が使う製品でヒヤリとした、②乳幼児のために使う製品でヒヤリとした、③その他の製品でヒヤリとした、の3つの場面に分けて紹介し、事故を防止するためのポイントについて、イラストを用いてまとめました。（A4判4頁 カラー版）

① 兄や姉が使う製品でヒヤリとした事例



兄がはさみを使っているときに、下の子が手を出して触ろうとして、はさみで指を少し切ってしまった（1歳・女兒）

② 乳幼児のために使う製品でヒヤリとした事例



上の子がベビーカーを押そうとしていたが、ベビーカーに荷物も掛かっていたため後ろに転倒しそうになった。（1歳・女兒）

③ その他の製品でヒヤリとした事例



下の子（2歳）がドア周辺で遊んでいて、ドアの蝶番周辺に手を置いたときに上の子がドアを開け、指を軽くはさんだ。（2歳・男児）

年齢の異なる子供のいる家庭での 乳幼児の事故防止ガイド

ヒヤリ・ハットレポート No.17

東京都では「年齢の異なる子供のいる家庭での乳幼児の危険」に関するヒヤリ・ハット体験を題材とするためにインターネット調査を行いました。
このガイドは、調査結果に基づき、兄や姉がいる乳幼児のヒヤリ・ハット体験や事故を防止するためのポイントをもとにまとめました。

①兄や姉が使う製品でヒヤリとした、②乳幼児のために使う製品でヒヤリとした、③その他の製品でヒヤリとした、の3つの場面に分けて紹介します。

① 兄や姉が使う製品でヒヤリ!



おもちゃで... (548件)
5歳454件、整を含ませた24件、
突いた時だった14件等

床に落ちていたブロックを口に入れていた。弟のおもちゃだった。弟も年齢がまだ上のおもちゃだった。(1歳男児)

東京都



ガイドはホームページからダウンロードできます。

◎事故防止のポイント

乳幼児は兄や姉の行動や持っている物に興味を持つことがあります。また、兄や姉も幼いうちは危険を察知するなどの能力は十分発達していません。日ごろからどのようなところに危険が潜んでいるか確認し、安全対策を心がけましょう。

- 製品の対象年齢を守り、遊べる場所や時間を決める。
- 危険なものに子供の手が届かないようにする。
- 安全な環境を作る、安全に配慮された製品を使う。
- 目を離さない・一人にしない。
- 理解できる年齢の子供には、危険な製品や行為を伝える。

詳しくはこちらをご覧ください。

東京くらしWEB

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>



【問合せ先】

東京都生活文化局消費生活部生活安全課
電話：03-5388-3055（直通）

2 配布先等

都内の消費生活センター、保育所、幼稚園、国立・都立の小児病院等に送付するとともに、都が主催、参加するイベント等で配布し、都民への注意喚起に活用します。

(参考) 調査概要

- 調査対象：兄や姉がいる就学前の乳幼児を持つ20歳以上の保護者で、都内または近県にお住まいの3,000人
- 調査時期：令和2年1月
- 調査内容：次の①～③の場面における兄や姉がいる乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験の有無、具体的な内容、性別・年齢、乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫
 - ①兄や姉の製品を、乳幼児が使用
 - ②兄や姉が、乳幼児のために使う製品を使用
 - ③保護者または兄や姉が、①②以外の製品を使用

※調査の詳しい内容は、こちらをご覧ください。

https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/infant_nenreinokotonarukodomo.html

